

かがやき

第20号 2011年 4月発行

◆療育の理念◆ 人間愛

基本方針

- 一. 私たちは、障害を持った方の人権と意思を尊重し、誠意を持って、命の輝きを大切に療育に励みます
- 一. 私たちは、ご家族や関係機関と力を合わせて、ニーズに即した地域療育充実に努めます
- 一. 私たちは、互いに信頼し、感謝の心で療育に取り組み、日々研鑽して療育の質の向上を目指します



社会福祉法人 二之沢愛育会 群馬整肢療護園

〒370-3531 群馬県高崎市足門町 146-1 電話 027(373)2277 FAX.027(373)2278
E-mail sw@gunmaseishi.com HP アドレス http://www.gunmaseishi.com

自立支援法の「つなぎ法案」の国会通過について

昨年は群馬整肢療護園は創立60周年を祝うことができました。森田初代園長を始め多くのみなさまの力があって現在の園があるものと志を強くいたしました。還暦ではありませんが気持ち新たにさらなる発展を誓いたいと思います。

さて、様々な問題があるとのことで改正案が上程されていた障がい者自立支援法ですが、2度も廃案になっておりましたが、昨年末に「つなぎ法案」として成立してしまいました。24年4月1日より施行の予定です。いままでの重症心身障害児・者施設は児童福祉法に拠っていて、重症心身障害児・者は成人となっても、重症心身障害児施設に入所できなくなっていました。そこでは「児者一貫」「医療福祉の一体提供」ができていたと思います。

しかし、つなぎ法案では児と者を完全に分離します。ですからいままでの施設は児童福祉法下の「障害児入所施設」と自立支援法下の「療養介護事業所」を運営して現在入所している利用者さん全員を新体系に移行を考えている施設が約63%と多くを数えています。当園は重症心身障害児・者施設に開設は平成12年からで平均年齢も約25歳と年長者の人は他の施設から比較すると少ないが、やはり同様の選択になると考えています。

いままでの児童福祉法に拠った体制が大きく変化します。日本で確立した重症心身障害児・者の医療福祉が「いのちの輝き」を支えて大きな役割を果たしてきたことは明らかです。「つなぎ法案」の細かいところは今後決まってくると思います。「障がい者総合福祉法」の議論の推移ともども注目しなければいけないと考えています。

前橋聖契キリスト教会牧師 松本 芳三様よりお礼状

「そのとき 彼らの目の涙をすっかり拭い取ってくださる。もはや死もなく、悲しみも、叫びも、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」～新約聖書 ヨハネの黙示録 21章4節～

過日は、小生の木曜学校の活動休止に当たり、過分の送別会を賜り大変恐縮しています。それにしても、あれから一ヶ月も過ぎてしまったの書状を差し上げるご無礼を謹んでお許しを願うものです。

とういうのも、40年間のボランティアの日々が走馬灯のように記憶がよみがえり涙する数日を過ごしてしまいました。

振り返ると、この活動の初めは、当時の宣教師の働きを継承したことからです。以来、私の活動の原点は、先に引用した聖書の言葉に立ってのことでした。あの肢体不自由児の子らの言葉にならない心の叫び・願いを聞く思いの中で、愛の神は彼らを顧みてくださり、私共健康者を凌ぐ祝福を持って彼らの終末を愛でくださるのだと確信して続けてまいりました。幸い、その活動の中から聖書の言葉を信じて信仰を持ち、喜々としている数人と交際が続けられていますのも神の私への祝福です。これからは、彼らに残してきた歌、“お祈りはね、毎日するんだぜ、いつも神様聞いてくれるから”に立って、彼らの上に神の祝福を祈り続けます。

当日、頂戴した皆さまの色紙に感動しています。これ程まで温かく見守り協力してくださったのだと改めて知りました。その色紙は、私の前橋教会はもとより、同僚教会の方々にも見せています。家内などは、わが家の宝物だと言って大喜びしています。さあ、書き始めたら言葉が止まりません。誰か止めてください。

そのようなわけで、本当に40年間の永きに亘りお世話になりました。では、これで失礼をします。

松本牧師様、長い間子供たちのために楽しい紙芝居やお話をしてくださって本当にありがとうございました。～利用者・職員一同～

園長 清水 信三



ヒロ・ヤマガタ作：モンマルトルの花火
寄贈：新前橋耳鼻科 豊田 修様



～60周年記念式典にて～

60周年記念式典報告



事務長 石川 正克

平成22年10月30日、92名の入園児・者様と職員は、父母会役員の皆様とご来賓をお迎えし60周年記念式典を無事実施できました。ご祝辞は大澤正明・群馬県知事（代理・深代敬久課長）、松浦幸雄・高崎市長（代理・石綿和夫部長）、君塚葵・全国肢体不自由児施設運営協議会会長、藤倉尊夫・父母会会長、町村忠・入園者代表様からいただきました。

最後に、創設者の森田伝一郎先生と肢体不自由児療育の父と呼ばれている高木憲次博士に開設時初期に薫陶を受け、その後、55年の長きにわたり肢体不自由児療育に携わられている「望月達夫先生」からの祝電をご紹介し報告とします。

一祝電一「桑畑の中にできた小さな木造の施設、希望に満ちた園児とスタッフ、手探りで始まった療育。開園の頃を思い出しつつ今後のご発展を祈ります」

静岡医療福祉センター児童部：名誉施設長 望月 達夫



60周年記念式典の様子

～幹部職員にインタビューしました～

今回は前回に引き続き、浅見君子師長に病棟や師長自身についていろいろ質問してみました。

Q1 一般病院の看護師さんとの仕事の違いは何ですか。

看護の基本は変わりありません。一般病院では治療の目的がはっきりしていて入院期間も短いです。

療護園では、看護だけではなく、健康管理から個別の障害にあわせて安全に、生活の質を向上できるように看護ケア援助をする事が求められます。

Q2 園での仕事のやりがいは何ですか。

入園されている皆様は、いつもまっすぐなまなざしで私たちを見ています。正直に受け止めるように、そして受け止め方を間違えないように、他職種の方と連携し、学習会やカンファレンスで討議することが、自己の研鑽にも繋がり仕事をする喜びにつながっています。

Q3. 浅見師長さんについていくつか教えてください。

①園で仕事をするようになったきっかけは何ですか。

私は、看護師として10年のブランクがありました。再出発を考えた時に、幼稚園のときの友達が、一度はそれぞれ違った学校に別れ、看護学校で再会しました。その友達が、看護学生の頃から同じ職場で活躍していることを知り療護園に決めました。今でもその友達に支えられています。

②仕事のストレス解消法を教えてください。

ストレスをできるだけ、自分へのプレッシャーに変えています。私は、自分を甘やかせると、怠け者になってしまいます。そんな時は何をしても楽しくありません、嫌だなと感じたりすることはたくさんあります、そんな時は少し時間をおいて前に進むことを考えるようにします。（友達とお酒の力を少し借りて）

③今後の方針や目標を教えてください。

整理→必要な物と不要な物を分け不要な物を捨てる。

整頓→必要な物がすぐに取り出せるようにする。

清掃→きれいな状態にして細部まで点検する。

清潔→きれいな状態を維持する。

しつけ→決められたとおりに実行できる習慣付けること。



浅見師長（病棟内）



浅見師長（写真右）

園の行事予定（平成23年4月～9月）

※行事日程については予定の為変更になることがあります。

- 4月 幼児保育お始まり式
マンボウグループ活動開始式
父母会総会
- 5月 母子通園事業つぼみの部屋お始まり式
A通親子遠足（幼児）
若草Ⅱ療育部行事
そよ風療育部行事（グループ別）
幼児遠足
さわらび療育園との交流会（マンボウ活動）
フランススコの町との交流会
- 6月 若草Ⅰ療育部行事
そよ風療育部行事（グループ別）
関東ブロック父母会
父母会夏祭り
さわらび療育園との交流会（マンボウ活動）
- 7月 そよ風療育部行事（マンボウG）
療育部行事・若草Ⅰ一泊キャンプ
そよ風ゆったりG日帰り行事
プール活動
- 8月 そよ風療育部行事（マンボウG）
プール活動
療育部行事・若草Ⅱ一泊キャンプ
そよ風ゆったり日帰り行事
重心児（者）を守る会 一泊キャンプ
- 9月 幼児合同運動会（入園児・外来通園児合同）
A通外出行事（成人）
フランススコの町との交流会（幼児）
保護者同伴行事（マンボウ保護者）

寄付金品報告～ありがとうございました～

（平成22年3月～12月）

- 3月17日 松八重 紀代子様 うどん2.7kg
- 3月18日 飯島 文江様 電子レンジ1台
- 3月25日 森下 たか子様 4万円
おもちゃ2つ
- 4月13日 三国功一様(株)様 ジュース96本
- 5月31日 (株)フジタカ様 長トレー60枚
- 7月 2日 松八重 紀代子様 米38kg
たまねぎ11kg
- 7月 8日 竹内 政夫様 絵本10冊
- 7月17日 山田 亜由美様 スポン1枚
ぬいぐるみ2つ
- 8月27日 松八重 紀代子様 じゃがいも9kg
- 9月21日 あさひ養護学校様 洗濯洗剤2kg
- 11月22日 高橋 美波様 紙オムツ6パック
- 12月 3日 田内 吉洋様 紙オムツ2パック
- 12月15日 三国功一様(株)様 ジュース96本
- 12月17日 高崎市社会福祉協議会様 みかん4箱
日本出版販売(株)様 書籍116冊
- 12月21日 松本 芳三様 2万円
- 12月24日 新前橋耳鼻咽喉科医院
院長豊田修様・豊田篤様 絵画1枚